



京都国際建築技術専門学校
 学校長 吉田 賢さん

「社会で即戦力として活躍できる人材の育成」に努めてまいりました。今後は、地元南丹市民の皆さまに、当大学校をもっと知ってもらえるよう連携を深めたいと願っています。

本学は平成三年に「京都国際建築技術専門学校」として開校しました。これまで「すべての学生のために」をモットーに、技術修得と資格取得に特化した教育活動を目的に

■ 伝統工芸の人材育成を担う

— 専 京都伝統工芸大学校 —

「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づく全国で初めての施設として平成七年に開校し、今年で開校十二年目となる京都伝統工芸専門学校は、四月から新しく「専 京都伝統工芸大学校」と校名変更されます。

同校では、京都の伝統工芸界で活躍する現役の伝統工芸士が、教授や講師として指導されているのが特徴です。これまでに約千六百人が卒業し、多くの方が伝統産業の後継者として活躍しています。

同校では、伝統工芸の人材育成や消費者との交流事業を推進し、より優れた人材育成が進められています。専攻は陶芸、木工芸、金属工芸などのほか、放送大学とも連携し学士号の取得も可能となっております。今年四月からは大学院入学資格が得られる四年制の高度専門課程が新設されることになっていきます。

また、伝統産業とハイテク技術の融合による新分野の産業開拓を目指す「京都新光悦村」への進出が予定されています。



京都伝統工芸専門学校
 学校長 松村 賢治さん

本学は平成七年に「京都伝統工芸専門学校」として開校し、これまで地域の小・中学校や地元の方を招いた工芸体験教室などを行ってきました。現在、京都新光悦村への進出計画や地元イベントでの学生と市民の皆さまとの交流をさせていただいています。今後もさらに市内の各学校や地域の方との交流を図っていきたくと考えております。